

---

# 行きつく先は

KA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
行きつく先は

【Nコード】  
N1670Z

【作者名】  
KA

【あらすじ】  
ある夜、奉公先の屋敷から森へと少女は逃げ出した。  
そこで一人の青年と出会う。  
少女はどこに行きつくのだろうか。

## 01 (前書き)

はじめまして、KAといたします。

初投稿なおおかしなところが多々あると思いますが、お許しいただけると幸いです。)

鬱蒼とした森の中を少女はひたすらに走っていた。

月の光だけが少女を照らす。裸足が草や小石を踏みつけるたびに、刺すような痛みが走った。

でも今はそんなことはどうでもいい。どうにかしてあの屋敷、あの村から逃げ出したかった。

長いこと闇雲に森を駆けていたが、さすがに疲れた。

ふと立ち止まり足元に目をやると、無数にできた擦り傷から流れた血が泥と交じり合いこびりついている。

少女はその場に蹲った。足が痛い。もう動けない。

ただひたすらに走っていたときの勢いを完全に失い、急に心細さに襲われる。

森はあまりにも静かだった。昼間に森から屋敷の庭へとたまに訪れては疲れ果てた心を和ませてくれていたきつねや小鳥たちはもうすでに寝入っているのだろうか。結局森の中でも自分は孤独なのだ。

そう思うと目から涙がこぼれそうになったので、ぎゅっと目を閉じ、上を見上げた。

背の高い木々から四方へのびる枝葉が何重にも重なり合っていて星は見えない。いつの間にか、月の光さえも届かない森の奥深くに迷い込んでしまったようだった。

しばらくの間少女は何も見えない空を仰ぎ続けていたが、ほうとため息をつくとも横になった。

枯れ葉や柔らかい土は家のじゅうたんよりもふかふかしているような気がする。

目を閉じた瞬間にこぼれ落ちた一粒の涙は、音も立てず土へとしみこんでいった。

「どうしたの？」

不意に、やわらかい声が少女の上に落ちてきた。もう見つかったのか。

絶望に体を震わせ、ゆるゆると目を開ける。

そこには一人の青年が少女を見下ろすようにしてたっていた。しかし葉の隙間からこぼれおちるわずかな月の光だけでは、顔までよく見えない。

誰だろう、村にはこんな声の人いなかった…。

「土の上で眠るのもいいけど、今日は特別星がきれいなんだ。僕と一緒に見に行かないかい？」

そう言つて少女の体と土の間に手を差し込むと、驚くほど簡単に彼女を抱きかかえた。

「あなたは」

あなたは誰？そう問いかけようとした少女は、近くで見た青年の顔に息を呑んだ。

オニキスのように黒く美しい瞳が、暖かな光をともして少女を見つめている。男の人にしては少し長めで緩やかにウエーブした黒い髪は絹糸のようにつやめき、陶器のようなすべらかな肌、やさしく弧を描く血色のいい唇、暗い森の中で彼のなにもかもが輝いて見えた。

天使みたい。

以前はつらいことがあると教会にこつそりと忍び込んで聖母さまや天使たちの絵を見てその穏やかな微笑みに救いを求めていた。もうそんな無駄なことはやめてしまったけど。

…それにしても温かい。

彼が誰なのか、そんなことはもうどうでもよかった。このぬくもりから離れたくない。

少女は青年の胸に、ほとんど残っていないすべての力をふりしぼりし  
がみついた。

01 (後書き)

R  
I  
P  
.

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1670z/>

---

行きつく先は

2011年12月5日23時53分発行